今日は、人権教育授業研修会がありました

今日は福岡県教育委員会主催の公開授業研究会がありました。受講対象は、筑紫野市、大野城市、太宰府市の小中学校に勤務する教職６年未満の先生方でした。４２名の若年教員がオンライン配信で、本校１年生の授業を参観し、協議、指導助言を受けるという形式で研修が行われました。

本日公開した本校の授業は、**『SNSをとおした豊かな人との関わり方について考えよう』**という内容です。ＳＮＳは便利なツールですが、ともすると誤解のもととなりトラブルになることもあります。ＳＮＳを使わないのではなく、どのように使えば、トラブルを避け、うまく使えるようになるのかを考えていこうというものです。この学習を進めていくと、面白い内容に発展します。それは、単にＳＮＳをどう使うか、ということだけではなく、**日常生活で、どう人と付き合うことが大切であるか、人間関係をどのように築くことが大切なのか、**ということに行きつきます。それがこの学習を行う意義であり、「自分も他の人も大切にしよう」という人権学習となります。

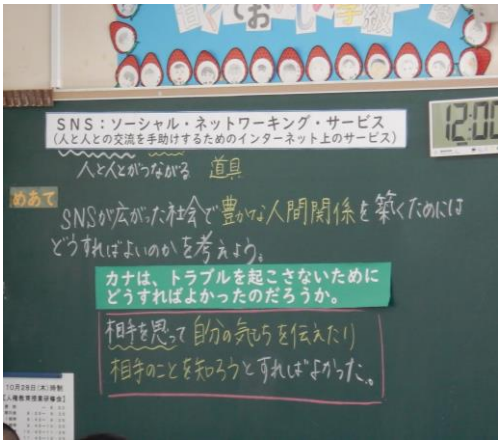
今日の公開授業は、１年２組、３組、５組の３クラスで実施されました（２、４組では事前に同じ学習をしています)。参観された先生方や福岡県教育委員会の方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。以下にその一部を紹介します。

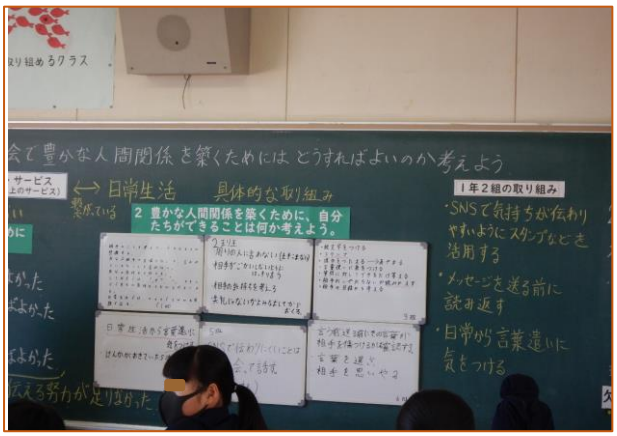
・身近で実生活につながる題材をもとに授業をしているところが良かった
・笑顔溢れる学級で、友達の意見を受け入れる態度が育っていた
・教師と生徒、生徒同士で、意見が言える距離感が良い
・きちんとした学習態度であった
・先生と生徒のやりとりから、普段から信頼関係が築かれていることがわかった
・スマホを持っていない生徒へも配慮した授業でした
・先生の言葉遣いが丁寧であり、そのため生徒も言葉遣いが丁寧であった
・全員で学習課題を解決しようとしていた
・クラスの皆で、解決方法を考えているところが良かった

私もたくさんの誉め言葉をいただき、大変嬉しくなりました。これだけ誉めていただけたのは、日頃から生徒が落ち着いた学習態度で授業に臨んでいることや、生徒と教師の人間関係ができている結果です。

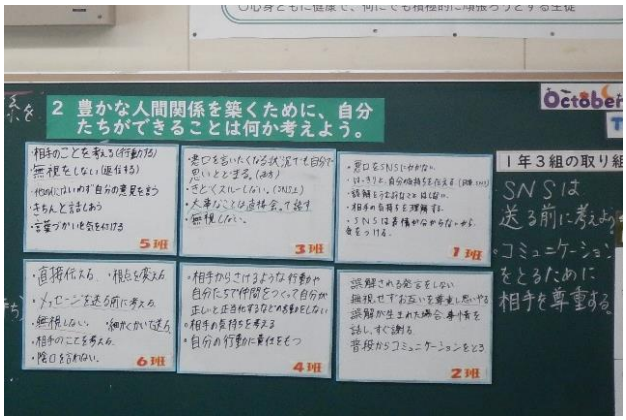
今日の研修を励みとし、これからも太宰府西中学校は、生徒と共に落ち着いた学校、一人ひとりの人権を大事にする学校を、さらに目指していきたいと思います。

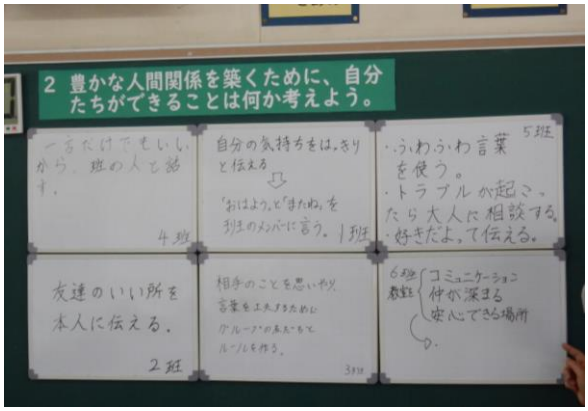
たくさんの ICT 機器を活用し、参加者４２名の学校に配信しました



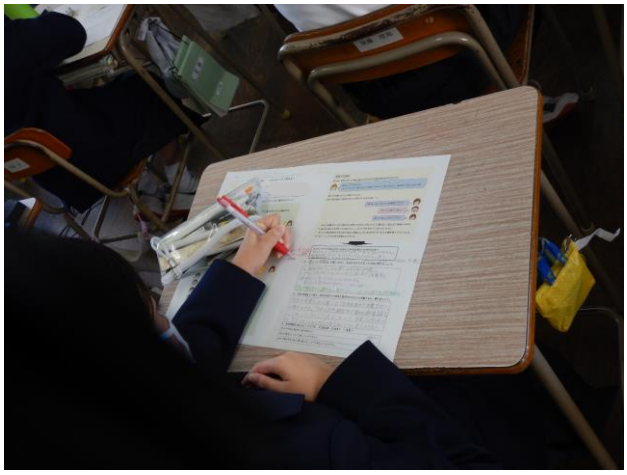


今日の授業で考え話し合った内容です





自分たちができることは何かを考えました



自分の考えをしっかりと学習プリントに書いています